水道管の凍結に注意しましょう！

寒さも一段と厳しくなり、水道管の凍結が心配な季節になりました。水道管の凍結を防ぐポイントは次のとおりです。事前に確認し、凍結対策を行いましょう！

【水道管の凍結を防ぐポイント】

①**水道管に凍結防止用ヒーターを巻き保温する**（電熱線により凍結を予防できますが、電気を使用するので水道工事店に相談しましょう）

②**水道管の「水抜き」をする**（気温が氷点下**(特に氷点下４度以下)**になると危険です。あらかじめ水抜き栓（元栓）の場所と操作を確認しておきましょう）

【凍ってしまったときは…】

蛇口と水抜き栓を全開にして、凍った部分にタオルを巻き付け**ぬるま湯**をゆっくりかけてください。

※熱湯は急な温度変化により水道管が破裂する危険がありますのでご注意ください。

問建設水道課☎66-2111内線２４２、２４８

水道凍結修理休日当番店

月日	会社名	電話番号
12月５日	山伸水道工業所	66-2813
６日	八紘カイハツ	0195-27-4545
12日	ハタナカ水道	080-1813-0628
13日	蒲野建設	0194-72-2211
19日	馬渕川設備	66-2428
20日	山伸水道工業所	66-2813
26日	八紘カイハツ	0195-27-4545
27日	ハタナカ水道	080-1813-0628
29日	蒲野建設	0194-72-2211
30日	馬渕川設備	66-2428
31日	山伸水道工業所	66-2813
１月１日	八紘カイハツ	0195-27-4545
２日	ハタナカ水道	080-1813-0628
３日	蒲野建設	0194-72-2211

お知らせします

令和３年度 固定資産税の軽減措置

新型コロナウイルス感染症の影響により、本年２月から10月までの連続する３カ月間について、事業収入が前年同期と比較して30％以上減少している中小企業の場合、該当する事業に係る事業用家屋および償却資産について、一部または全額が減額されます。

【対象者】

▷資本金または出資金が１億円以下の法人

▷資本または出資を有しない法人のうち、常時雇用の従業員が1,000人以下の法人（ただし大企業の子会社は除く）

▷常時雇用の従業員が1,000人以下の個人事業者

【対象資産】

事業用家屋および償却資産（土地や住宅用家屋は除く）

【軽減措置の申告までの流れ】

事前に認定経営革新等支援機関（商工会、税理士、公認会計士など）で減額条件を満たしているかの確認審査を受けたうえ、町に申告してください。なお、当該審査には、時間を要する場合がありますので、早めにお手続きください。

【減額割合】

３カ月間の事業収入の対前年同月比減少率	減額率
30%以上～ 50%未満	２分の１
50%以上	全額

【申告期間】

令和３年１月４日(月) ～１月25日(月)

問住民会計課税務徴収係☎66-2111内線132、133、134

道路の除雪にご協力ください！

本年度新たに導入したグレーダー

これから雪が降り積もる時期になってきます。除雪車での除雪作業を行った際に、ご家庭の敷地内に雪が残ることがあります。お手数をおかけしますが、除雪車が通った後に雪が残っていた際は、除雪のご協力をお願いします。

問建設水道課☎66-2111内線243、244

これまでの功績たたえ表彰

令和２年度町勢功労者表彰式

令和２年度の町勢功労者表彰式は11月17日、ふれあい宿舎グリーンテージで行われ、鈴木重男町長から次の方々に町勢功労賞と感謝状がそれぞれ贈られました。

鈴木町長は受賞された皆さんのこれまでの功績に触れ「今後も高い見地から町の進歩、発展のためにご指導、ご支援くださるようお願いします」とあいさつ。受賞者を代表して遠藤憲正さんが「この受賞を契機に、広く町政全般に目を向けて町の発展のため、ご協力させていただきたい」と謝辞を述べました。

保健福祉

遠藤　憲正さん
（74歳・新町）

昭和49年11月に遠藤歯科医院を開業以来、各種団体の委員などを歴任。また、昭和61年４月から現在まで学校歯科医も務められるなど、地域の歯科保健や医療の発展に貢献されました。

地方自治

大川原　一さん
（66歳・江刈）

昭和54年４月から現在に至るまで、町統計調査員(小苗代調査区担当)として40年間の長きにわたり、統計思想の普及と発展に尽力し、町の地方自治の発展に貢献されました。

感謝状

川村　久史さん
（76歳・盛岡市）

新エネルギー導入に関する事業に向けて町に多額の寄付をいただきました。これまでにも企業の経営者として、多くの場面で特産品を活用するなど、本町の取り組みに理解、協力をいただいています。

秋の叙勲

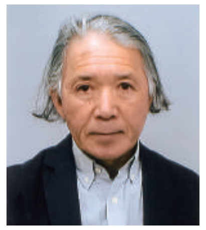
瑞宝双光章

近藤　聖(きよし)さん
（70歳・下町）

昭和49年４月に東京都の教員として採用され、その後、昭和56年４月から平成23年３月まで岩手県で児童の教育、指導にあたられました。へき地の教育研究員の経験もあり、教育現場での地域的格差の改善や教育水準向上に精力的に取り組まれました。

近藤さんは「これまで務めた学校の子どもたちや保護者の皆さん、先輩や同僚の先生方、関係者の皆さんに助けられての受章です」と感謝を述べ「葛巻の文化や歴史を大事にし、どこに行っても自分の力を伸ばして発揮できるように頑張ってほしい」と子どもたちの健やかな成長を願っていました。

日展で初の特選



立花大聖(だいせい)さん
（69歳・下町出身）

公益社団法人日展主催の改組新第７回日展（日本美術展覧会）が東京都の国立新美術館で10月30日から開幕し、本町出身の立花大聖さんの作品「返信のないメール」が日本画部門で特選に選ばれました。（352点の応募のうち入選154点、特選10点）

他の作品も手掛けながら７カ月ほどかけて完成させた力作。立花さんは「スマホを手に虚(うつ)ろげな表情の少女とそこはかとなく見えてくる鳥や馬などの背景から断片的なイメージを膨らませ、見る人が自分なりの味わい方を見つけ、感じてほしい」とコメントを寄せてくださいました。

特選作品
「返信のないメール」